



# 林 声

2024  
11 月号



県内の新しい林業の取組を紹介する「新しい林業・おかやま」。  
今回は、倉敷普及指導区管内で近年増加しているナラ枯れ被害の早期発見のため、当指導区で所有しているドローンを用いて上空からの被害調査を実施、関係機関との連携を図っている活動を紹介します。

(詳細はP 2 に記載)

中央:森林クラウドにオルソ画像を搭載し森林計画図を重ねた図 右上:ナラ枯れ調査の様子 右下:撮影場所の3D画像 左上:ipad(飛行ルート)の画面

## 目次

新しい林業・おかやま(倉敷普及指導区).....	2	林産物市況.....	11
がんばる林務の職場(矢掛町産業観光課).....	3	「おかやま森づくり県民税」	
普及指導区の情報(津山普及指導区).....	4	3つの柱について③.....	11
第57回 岡山県農林漁業功労者表彰.....	5, 6	森林・林業施設の紹介(長船美しい森).....	14
おかやま森づくり県民税を活用した 鳥獣被害対策事業.....	6		
企画展示			
「木になる木づかい情報発信」開催.....	7		
岡山県職員(林業職)自己紹介2.....	8		
研究だより			
(岡山県産コナラ材の材質について).....	9		
技能講習等情報.....	10		

### 【ほっけ〜木になる情報】

Q. 林業の労働災害は、  
どんなものがあるの?

(答は13ページ)



©岡山県マスコット「ももっち・うらっち」



一 はじめに

岡山県では令和4年度に県内9普及指導区にドローン (AUTEL) が配備されました。さらに森林計画担当者を主として、ドローン講習会に参加し、操縦者の技術向上も図っています。

二 課題

配備されたドローンには、自動で対地空高度 (以下「高度」とする) を一定とする飛行を設定できるソフトがないため、歪みが少ないオルソ画像作成には、撮影上の工夫が必要となります。

そこで、森林研究所から助言を受け、歪みの少ないオルソ画像作成に必要な撮影飛行について検証を行いました。

三 検証飛行 @真備美しい森

高度を一定飛行できない場合の飛行計画作成時の主なポイントは、①谷部の標高を基準に撮影をスタートすると尾根部で十分なオーバ

ーラップ率がとれず、撮影範囲が狭くなるため、尾根は場合によっては飛行範囲を分割して計画すること

②尾根部から撮影をスタートする時は、谷部で法定高度の150mを超えないように飛行範囲を設定すること

③当該機種はホバリングせずに撮影するため機体の進むスピードを調整する (ゆっくりにする) こと

④付属のバッテリーが2本のため飛行時間が限られることから、撮影面積を考慮する必要があることなどです。



Pix4Dによるオルソ画像作成の様子

今回は、高度120m、飛行速度10m/s (初期設定は18m/s)、オーバーラップ率80%、0.9秒と2.6秒の2パターンの撮影を

しました。撮影枚数は、31枚と61枚、時間は4分と7分で、2本のバッテリーで十分対応できました。

その後、森林研究所で、解析ソフト (Pix4D) でオルソ画像を作成しました。作成時間は各々15分程度で、解像度も十分な画像が作成できました。

四 ナラ枯れ被害地撮影 @船穂町ふれあいの森公園

船穂町ふれあいの森公園には、大木の落葉広葉樹の間をゆるやかな歩道が整備されており、野鳥観察などが楽しめる、市内外から人が訪れる公園です。しかし、昨年度ナラ枯れ被害が確認され、倉敷市は、被害拡大防止のため、今年度当初に伐倒くん蒸などの対応を行いました。

公園が広範囲であるため全体的な被害を把握しづらいこともあり、倉敷市船穂支所と協力してドローン撮影で、オルソ画像を作成し、森林クラウドで各種レイヤと重ね、現状被害の把握ができないか検証しました。

面積は約4.1ha、撮影枚数は169枚、時間は20分、バッテリーは1本と2本目の30%程度を使用しましたが、撮影は成功しました。

今回もオルソ画像は森林研究所で作成し、森林クラウドで枯損木の位置情報を確認することができました。今後は、倉敷市及び防除作業を委託されている備中南森林組合と情報共有し、今後の防除計画に使用したいと考えています。



ナラ枯れ被害地撮影の様子

五 最後に

今回の検証により、ドローン撮影画像をオルソ化することが対象物の位置情報を把握する上で重要なポイントであると実感しました。

今回得られた技術は小さなものですが、今後も経験を重ねていき、ドローンの新しい活用方法を検討し、普及指導区の森林・林業に貢献できるように精進してまいります。

(倉敷普及指導区 竹井 裕子)



一 はじめに

矢掛町は、県南西部に位置しており、旧山陽道の宿場町としても広く知られています。町の林野率は64%ですが、人工林率が約13%と低く、広葉樹が主体の地域です。さらに、森林・林業に対する関心が低く、林業生産活動が停滞し、公益的機能の低下が危惧されている状況です。

このため、森林の状況と管理意識の把握が重要であるとして、森林経営管理制度に取り組みんでいますので紹介します。



矢掛町産業観光課の様子

二 取組方針

矢掛町では、快適な生活環境づくりを推進するため、森林の保全を図り、計画的な森林整備・管理を進めていくこととしています。

森林管理・経営に適さない森林については、切捨間伐を実施し、針広混交林化を図り、災害防止等の公益的機能の維持増進を図ることとしています。



関係者による協議会の様子

三 取組内容

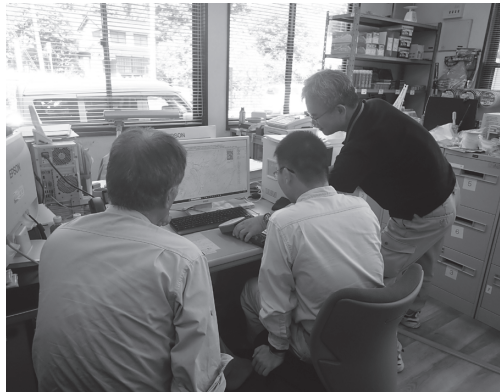
矢掛町は人工林率が低く、全国的にも取組の参考となるような事例が少ないことから、県、町、森林組合で、方針・取組の方向性について協議を行いました。

【①対象森林の決定】

- ・人工林（スギ・ヒノキ）
- ・個人の所有森林
- ・手入れがされていない森林
- ・まとまりが0.5畝以上
- ・相続登記が済んでいる

【②事前調査の実施】

矢掛町から委託を受けた備中南森林組合は、林地台帳等から対象森林の抽出や、GNSS測量機を積極的に使用した現地確認、標準地調査による林分把握を実施しています。標準地調査が一番の苦労した点であったようです。また、矢掛町は抽出された対象森林の所有者の登記確認を行いました。



森林データのとりまとめ(備中南森林組合)

意向に関する調査を実施しましたが、事前調査の段階で、所有者や現地状況を把握していたため、スムーズに調査が行われました。

【④集積計画作成】

意向調査と現地調査を踏まえ、対象の森林を絞り込み、集積計画を作成し、同意を得ています。

なお、矢掛町全体で約26畝を公告・縦覧を行いました。

【⑤実施の実施】

令和4年度から約16畝の切捨間伐を実施し、令和6年度も約2畝程度の間伐を実施することとなっています。

四 職場環境

矢掛町は、制度当初から森林管理の適正化に積極的に取り組んでおり、ICTを活用したスマート林業に取り組み備中南森林組合と連携し、令和5年度末までに矢掛町全域の意向調査が終了し、集積計画が策定されました。

今後の間伐等の実施や、針広混交林化に向けた森林づくりの取り組みについて、引き続き、助言・支援をしていきたいと思えます。

(井笠普及指導区 岡田 和久)

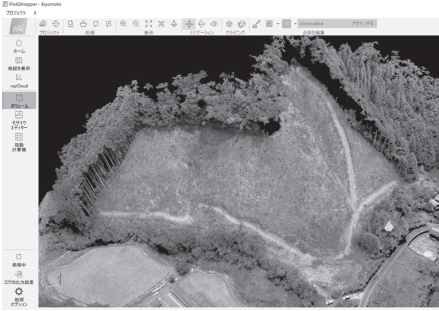
【③意向調査の実施】  
森林所有者に対し、森林管理の

普及指導区の情報提供  
シカ林業被害防止対策推進  
協議会の開催について  
【津山普及指導区】

一 はじめに

近年、シカによる造林木の被害が深刻化し、被害対策にかかる労務及び経費負担の増大などから、森林の更新が困難となっている箇所が見受けられます。

このような中、津山普及指導区では、今年度から、津山市内及び鏡野町内で、地域の実情に合った再造林の防護とその周辺での捕獲体制整備による森林内のシカ被害対策等のモデルを構築することとしていきますので、その内容について紹介します。



鏡野地区モデル地  
(鏡野町中谷・土生地内)

二 モデル地の選定

森林所有者の御協力を頂き、津山市中北上地内（令和7年1月伐採予定）、鏡野町中谷・土生地内（皆伐跡地）の私有林をモデル地に選定しました。

三 協議会の開催

モデル地の選定を受けて津山地区と鏡野地区の2か所で市町、森林組合、猟友会によるシカ林業被害防止対策推進協議会（以下「協議会」）を設置し、7月に第1回目を開催しました。

協議会では、シカ被害の現状と対策について森林研究所の三枝専門研究員からの説明の後、現地の条件に合った防護、捕獲対策等について、意見交換しました。

森林所有者からは「ブロックデイフェンス、単木保護、大苗植栽とも試してみたい。」「造林地ではウサギによる被害が多く、こちらの対策も必要。」、森林組合からは「シカ対策だけで言えば秋植えより春植えがよい。秋に植えるとうすぐ食べられる。」、猟友会からは「シカの処分穴はぜひ欲しい。」「わなの管理のため、作業道は軽トラが入れる程度には整備してほしい。」「捕獲作業は再造林地周辺

のシカの獣道が定まってから取りかかるので、捕獲実績が出せるまで時間がかかる。」「地形や作業効率を考えると、造林地から数百メートル程度離れた場所で捕獲することになると思う。」等の意見がありました。



第1回鏡野地区協議会

四 今後の取り組みについて

第2回協議会では、野生鳥獣対策の専門家を交え、モデル地の実情に応じた被害対策技術の検討を行います。

その後も、これらの検討をもとに各種被害防止対策を実施し、協議会において、その効果を検証することとしています。また、検証

結果をモデル地区がある地域以外にも情報提供し、対策の参考としていく予定です。



専門家と現地打合せ

五 終わりに

今回の協議会を契機に地域ごとに被害防止体制が整備され、再造林の推進が図られることに期待しています。

(津山普及指導区 田中 康敬)

## 第57回岡山県農林漁業 功労者表彰受賞者の紹介

林業・木材産業の振興に尽力された方々の受賞が決定しました。心よりお喜び申し上げます。  
(敬称略)

### 《知事表彰》

#### 【団体指導者部門】

竹本 俊郎 (新見市)



竹本 俊郎氏

竹本氏は、平成26年に新見市森林組合の理事に就任し、平成29年から代表理事組合長として、組合経営の合理化や職員の待遇改善を図るなど経営基盤の強化に尽力されています。

作業路網整備と高性能林業機械を活用した施業集約化による搬出間伐など林産事業を積極的に行って、安定した経営を維持し、組合員の社会的、経済的地位の向上に努めるとともに、労働災害防止対策として、安全教育や作業前後の確認を励行し、無災害日数700日を達成するなど、その経営手腕が高く評価されます。

また、岡山県森林組合連合会の理事として、積極的に提言するなど連合会の健全な組織運営にも尽力されています。

さらに新見市の林業の成長産業化の実現を目指した「未来につながる新見の林業会議」の中心的なメンバーとして、同市の林業振興の基本指針となる「新見市森林ビジョン」の策定に尽力されました。

また、市内小学校の校外学習等において高性能林業機械の実演等林業体験を通じて、児童の森林・林業に関する理解を深めるほか、漁業関係者等との協働による森林整備活動を通じて交流促進を図るなど地域林業の振興に大きく貢献されています。

### 《農林水産部長表彰》

#### 【林業部門】

豆原 寛一 (真庭市)



豆原 寛一氏

豆原氏は、平成23年に高祖父から続く家業の苗木生産を始められました。

高発芽種子やセルトレイを用いた育苗により、原苗の移植作業時期を平準化するとともに、得苗率の向上を図っているほか、生産作業の機械化・ライン化により、作業を軽労化・効率化する等、県内では最先端といえる取組等を進めています。また、これら模範的な取組を研修会の講師として県内生産者へ普及されています。

生産技術の研究、探求にも積極的に取り組まれており、各肥料の溶解日数や培土配合パターンによ

る苗木成長への影響や、殺菌・殺虫剤の効果等を自ら比較試験することで、目的に応じた最適な生産を追求するとともに、先進的な経営方法や苗木の生産技術を取り入れるべく、日本国内のみならず海外の苗畑や生産機械の視察を行うなど、更なる生産技術の向上に熱心に取り組まれています。

このほか、地域貢献への模範的な取組として、近隣の就労支援施設と作業委託契約を結び、障害者の社会復帰訓練の場を提供するほか、地元中学生の短期職場体験を受け入れ、教育分野にも貢献されています。

令和5年度に岡山県山林種苗協同組合の理事に就任され、豊富な知識と経験、柔軟な発想を活かし、組合の発展的な運営に務めるなど、今後も岡山県の苗木生産における、リーダーとしての活躍が期待されています。



《農林水産部長表彰》

《団体指導者部門》

母里 靖浩 (真庭市)

母里氏は、昭和62年に木材運搬業を開始し、平成6年(有)三謳の、平成18年より(株)三謳の代表取締役として、素材生産業を営む事業体へと成長させてこられました。

平成18年に岡山県北部素材生産協同組合の理事に就任し、令和4年度から理事長として、組合事業である素材の共同販売事業や関係団体との合同研修を開催するなど、卓越した指導力を発揮し、健全な組織運営や林業事業体の育成等に努められています。

災害0に向け、組合員を対象とした労働安全講習会を毎年実施し、



母里 靖浩氏

VRゴーグルを活用した作業事故の疑似体験や、自主改善活動プログラムなど新たな取組を行ったほか、森林研究所を会場に林業事業体による自己啓発の取組「伐木技術向上トレーニングデー」に組合員を派遣するなど、林業労働安全の推進に尽力されています。

また、平成24年から真庭地区木材組合の理事に就任し、令和4年から副理事長として、組合員の結束、組織運営に積極的に取り組み、令和4年には岡山県木材組合連合会の監事として連合会の運営にも貢献されています。

平成16年台風の災害復旧のため森林組合と連携し、風倒木処理や復旧造林を、率先して実施されました。

近年では売却希望者の森林を購入し、皆伐・再造林を実施するなど、森林資源の循環利用と地域林業木材産業の発展に貢献されています。

受賞された皆様の、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(林政課 普及指導班)

おがやま森づくり県民税を  
活用した鳥獣被害対策

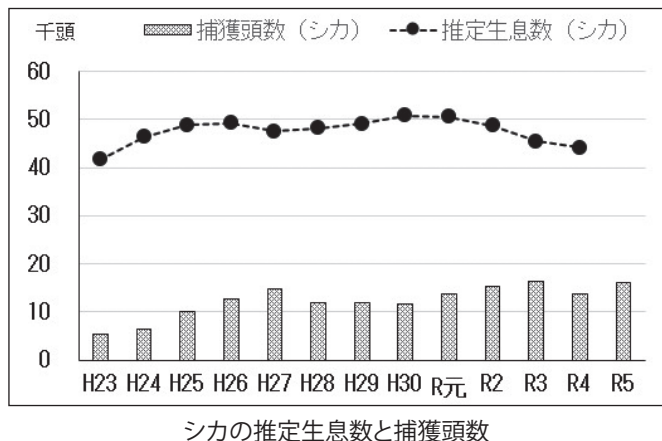
ニホンジカによる農林被害金額は令和5年で約3,500万円となっており、生息域の拡大に伴い新たな地域での被害の発生や造林地における苗木の食害等が増加するなど、被害拡大への対応が必要となっています。



造林地に現れたシカ

岡山県では、ニホンジカによる被害の軽減を図るため、おがやま森づくり県民税を活用し、市町村が行う有害許可捕獲に対して支払われる助成金の一部を補助する事業を行うとともに、ドローンやGPSなど新たな技術を活用した捕獲技術の検証等の取り組みを進め

ています。



シカの推定生息数と捕獲頭数

ニホンジカの捕獲頭数の増加に伴い、推定生息数は減少傾向に転じていますが、被害金額は依然として高い水準で推移しています。

今後、更なる被害低減のため、引き続きこれらの捕獲対策に取り組むとともに、防護対策や狩猟者の確保、育成等の対策と一体となった総合的な対策を進めて参ります。

(鳥獣害対策室)



一 はじめに

本県は、ヒノキをはじめとする豊富な森林資源を背景に、多くの木材流通・加工施設が立地した西日本有数の国産材加工県です。

今回、木材利用促進による林業サイクル循環の意義について普及啓発を図るための新たな試みとして、県庁1階県民室において建築物木材利用促進協定の取組等を紹介する展示を10月15日から10月25日まで行いました。

二 展示の内容

現在、県では民間建築物における県産材利用を促進するため、(一社)岡山県建築士会と2者協定を、ライフデザイン・カバヤ(株)及び(一社)岡山県木材組合連合会と3者協定を結んでいます。

展示ではこれら企業・団体をはじめ、県の森林研究所木材加工研究室や建築指導課にも協力いただきました。

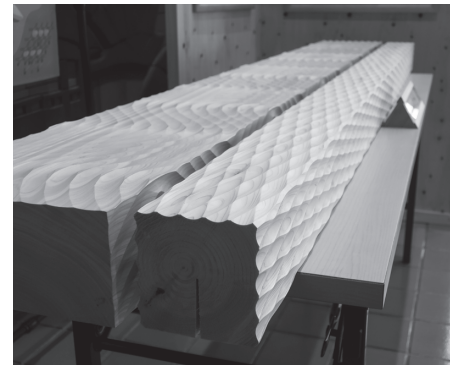
まず、圧巻なのはライフデザイン・カバヤ(株)が住宅で標準採用を進めている県産森林認証材を

用いた高さ約3メートルの実物大CLTパネルです。このパネルは、従来の筋交いより強度があるため必要な耐力壁が削減でき、より開放的な空間を確保することが出来ます。



CLTパネル (ライフデザイン・カバヤ)

また、(一社)岡山県建築士会が現地セミナーを開催した民間木造非住宅の紹介や、県産ヒノキの表面に「なぐり加工」を施した柱材や壁板の実物展示を行いました。なぐり加工は、従来の平滑な表面と比較して高い意匠性をもっており、店舗などの商業施設での利用が期待され、来場者はその物珍さに足を止め見入っていました。



なぐり加工を施した柱材(建築士会)

(一社)岡山県木材組合連合会は、木造住宅の普及促進や、国内外での販路開拓の取組等の紹介を行いました。



販路開拓の取組紹介(県木連)

森林研究所木材加工研究室は、現在行っているヒノキの香りの研究に関し、異なる乾燥方法での香りが比較できるサンプルや乾燥する際に得られる精油を活用したア

ロマディフューザーを展示しました。



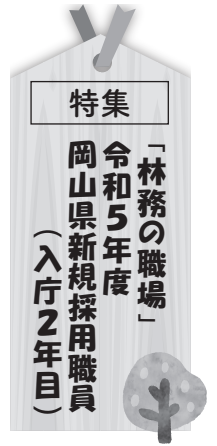
ヒノキの香りに関する展示(木材加工研究室)

ほかにも、県産材利用による林業サイクル循環の意義や、県施設における県産材活用事例の紹介パネルの展示も行いました。

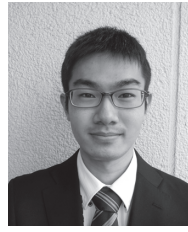
三 おわりに

展示エリアは、ヒノキの香りで満たされており、来場者からは「森林の中にいるみたい」との感想も聞かれるなど好評であったと思います。今後も、こうした企画展示を行い、県産材の需要拡大に取り組んでまいります。

(林政課 林業木材班)



前号に引き続き、令和5年度に岡山県職員（林業職）に新規採用された6名のうち、残る3名の方をご紹介します。



備前県民局  
森林企画課  
仲田 昂平

○経歴と就職のきっかけ

大阪府出身ですが、幼少期は岡山と兵庫の県境付近にある母方の実家で、自然に囲まれて過ごしました。そのため、自然には親しみがあり、大学は昆虫について学びたかったため、高知大学に進学しました。

初めこそ林業への関心は薄かったですが、大学在学中に農林分野を広く学ぶ中で、森林関係の分野にも興味を持ちました。

また、大学の先輩が岡山大学の大学院に進学し、現地の話を聞いたりしているうちに、岡山県への

関心が生まれ、岡山県の林業職を志望するきっかけになりました。

○担当業務

現在は、林業振興班で森林計画関係と環境緑化関係の業務を主に担当しています。

○今後の抱負など

業務について、自分が受け持っている分野以外にも目を向けて、幅広く知識や経験を身につけていきたいと思っています。

岡山県に關してもまだまだ知らないことばかりですので、各種業務を通じ、岡山県の林業を主として、県全体のことも合わせて学んでいきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。



備前県民局  
森林整備課  
森本 晋玄

○経歴と就職のきっかけ

私は岡山市出身で自然や生物が好きだったことから鳥取大学農学部に進学しました。大学では里山里山環境管理学コースに所属し農業、林業など幅広く学んできました。大学で学んだことに関係する職に就きたいと考え、岡山県職員

林業職を志望しました。

○担当業務

私は治山事業の設計・計画・監督や地すべり防止区域に関することなどを担当しております。現在は治山ダム工事や除伐、本数調整伐の森林整備作業の現場監督業務等を行っております。

○今後の抱負など

近年は豪雨災害が多発しており、ついこの前にも台風10号による記録的な豪雨とそれに伴う土砂災害が発生しました。治山事業の重要性は益々高まっていくと思われるので責任感を持って取り組んでいきたいと思っています。

日々の仕事を大切にして経験を積んでいき、岡山県の森林と向き合っていきます。これから、よろしくお願ひいたします。



美作県民局  
森林整備課  
長松 琉星

○経歴と就職のきっかけ

熊本県葦北郡芦北町の出身で、幼少期から自然豊かな場所で育ち、森に興味を持ったため、熊本県立芦北高等学校林業科へ進学しました。

高校では主に林業についての基礎知識や、技術などを学んで林業への理解を深めていきました。

就職に至った経緯は高校3年の夏に岡山県職員についての説明会に参加したことがきっかけでした。それまでは岡山県に縁もゆかりもない状況で、当時説明会に参加するまでは自分自身岡山県を受験するとは思っていませんでした。

しかし、説明会を終えた後、私は岡山県を受験すると決意しました。説明して下さる職員の方々の人柄の良さ、職場内のアットホームさが伝わってきて、この方たちと一緒に仕事がしたいと心から思う思い、岡山県の林業職を目指すこととなりました。

○担当業務

治山事業の計画、設計及び監督に關すること等を主に担当いたします。

○今後の抱負など

治山事業の担当として二年目となり、昨年よりできることが増えたと実感しております。ただ、まだまだ分からないことだらけなので、職場の上司や同期などに支えてもらいながら日々成長していこうと思ひます。



## 研究だより

### 岡山県産コナラ材の材質について

#### 一 はじめに

岡山県では、県全域でナラ枯れ被害が発生しており、今後、コナラなどのナラ類を中心とした広葉樹を積極的に伐採・利用することが求められています。

コナラなどの未利用広葉樹について利用促進を図るためには、材質や乾燥の特性など、木材利用のための基礎的な知見が必要となります。しかしながら、これまで当研究所では、未利用広葉樹の材質や乾燥の特性についての調査・研究は行われてきませんでした。

そこで、令和4年度より試験研究課題「広葉樹の有効利用に関する調査研究」に取り組み、県内で資源量の多いコナラ材の材質について調査を行いましたので、その結果の一部を紹介します。

#### 二 コナラ材の材質特性

調査したコナラは、末口径15<sup>ミ</sup>、樹齢32〜69年生の丸太9本であり、次に示す材質指標を調査しました。なお、材質指標の調

査は、JIS Z 2101「木材の試験方法」に準拠しています。

##### ① 曲げ強度

曲げ強度は、曲げ強さと曲げヤング係数を求めました。試験は、断面寸法20<sup>ミ</sup>、長さ320<sup>ミ</sup>の試験体を柾目木取りで68体作製し、スパン280<sup>ミ</sup>の中央集中荷重方式荷重面は柾目面で行いました(図1)。この結果、曲げ強さの平均値は132MPaで、曲げヤング係数は16GPaでした。この値は、同じブナ科コナラ属のケヤキの文献値\* (曲げ強さの平均値が100MPa、曲げヤング係数が12GPa)と比較しても高く、県産コナラ材は高い曲げ強度を有していると考えられます。

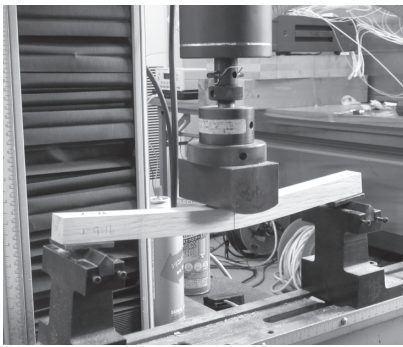


図1 曲げ強度試験の状況

##### ② 圧縮強度

圧縮強度は、縦圧縮試験を行い、縦圧縮強さを求めました。試験は、

断面寸法20<sup>ミ</sup>、長さ60<sup>ミ</sup>の試験体を68体作製し、繊維方向に荷重を負荷して試験体が破壊したときの圧縮荷重を測定しました(図2)。

縦圧縮強さの平均値は60MPaであり、同じブナ科コナラ属のケヤキの文献値\* (50MPa)と比較しても高く、県産コナラ材は曲げ強度と同様に高い縦圧縮強度を有していると考えられます。



図2 縦圧縮強度試験の状況

##### ③ 表面硬さ(ブリネル硬さ)

表面硬さ(ブリネル硬さ)は、1辺40<sup>ミ</sup>の立方体の試験体を9個作製し、直径10<sup>ミ</sup>の鋼球を、木口面に9箇所、木表側の板目面及び柾目面に6箇所圧入し、表面から0.32<sup>ミ</sup>圧入した(図3)時の荷重からブリネル硬さを算出しました。なお、今回の試験結果は、末口径15<sup>ミ</sup>、樹齢32年生の丸太

のみの結果となっています。ブリネル硬さは、木口面の平均値が50MPa、板目面が22MPa、柾目面が17MPaでした。これらの値は、同じブナ科コナラ属のケヤキの文献値\* (木口面の平均値が40MPa、板目面が20MPa、柾目面が13MPa)と比較しても同程度が高く、県産コナラ材はケヤキ以上の表面硬さがあると考えられます。

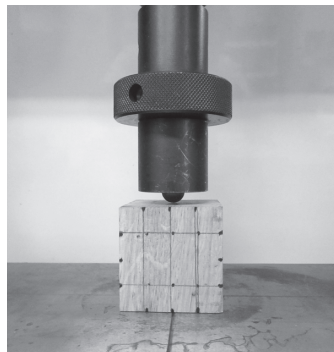


図3 表面硬さ(ブリネル硬さ)の測定状況

#### 三 おわりに

今回調査したコナラ材は、調査本数は少ないものの、高い強度性能や優れた表面性能を有しており、フローリング等への利用の可能性があることがわかりました。

現在、高品質な製品の製造に不可欠な乾燥方法について検討しています。

(木材加工研究室)

専門研究員 金田 利之

\*改訂4版木材工業ハンドブック



# 林 産 物 市 況

●木材 (10月9日)

・出荷量 約2,100m<sup>3</sup>



単位：千円/m<sup>3</sup>

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況
杉	3m	14~16	11	~	杉概況 【3m】 柱材 横這い 中目材 横這い 【4m】 中目材 横這い 元木 横這い
		18~20	11	~	
		22~28	11	~	
	4m	18~22	10	—	
		24~28	10.5	9.5	
		6m	16~18	—	
檜	3m	14~16	19.5	17.5	檜概況 【3m】 柱材 横這い 中目材 横這い 元木 横這い 【4m】 柱材 横這い 中目材 横這い 元木 横這い
		18~20	18	17.5	
		22上	19.5	18.5	
	4m	16~18	19.5	19	
		20~22	19.5	19	
		24~28	20	18	
	6m	16	—	—	
		18~20	—	—	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製材 (10月)



価格：円/m<sup>3</sup>

樹種	寸法	等級	区分	安値~高値	備考
スギ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	~ 75,000	
	正角 3m 12cm角	特等	K	~ 70,000	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	80,000 ~	
	正角 3m 12cm角	特等	K	70,000 ~	
	正角 4m 10.5cm角	特等	K	80,000 ~ 85,000	
	正角 4m 12cm角	特等	K	75,000 ~ 80,000	
マツ	平角 4m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	~95,000	
米マツ	正角 3m, 4m 10.5cm角	特等	G	76,000 ~	
	平角 3m, 4m 10.5×15~21cm	特等	K	95,000 ~	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm角	特等	K	105,000 ~	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	82,000 ~	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。  
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



3つの  
柱についで  
③

県では、おokayama森づくり県民税を活用し、3つの柱に継いながら「伐つて・使つて・植えて・育てる」という林業サイクルの循環のため、森林保全に関する各種事業を行っています。

今回は、柱の三つ目である「森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進」の取組について紹介します。

【県民への情報提供等】

森林の働きや林業の役割を普及啓発するため、一般県民の方が参加するイベントや図書館等でのパネル展示、小学生向けの副読本の作成等を行っています。

また、将来における林業の担い手育成に資するため、森林・林業関係の学習を行う県立高等学校の生徒を対象に、林業就業に向けた技術実習や林業関係の先進地視察等を行っています。

【県民参加による森づくり活動の推進】

森林ボランティアグループや企業等による森づくり活動を支援し、参加者が森の恵みを楽しみながら地域の森づくりを行う取組を推進しています。

この他にも、みどりの大会やみどりの少年隊交流集会、環境学習エコツアー（森林環境学習コース）を開催するなど、森林・林業・木材産業についての理解を深める機会を創出しています。



高校生対象の技術環境学習エコツアー実習

(林政課 普及指導班)

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林  
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！  
 保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千9百万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年  
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円  
 一括払いだと 25,324円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年  
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円  
 一括払いだと 42,129円 (5年間計)

1ヶ月あたり  
約420円

おむすび  
3個分

1ヶ月あたり  
約700円

ラーメン  
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



森林保険公式キャラクター そよりん たもちい



中古林業機械  
売ります！買います！



HITACHI Logisnext

日立建設機械

油圧ショベル

三菱ロジスネクスト

フォークリフト



チェーンソー

各種林業アタッチメント



NANSEI



MOROOKA

各種機械のレンタル・修理も承ります！

富士岡山運搬機株式会社



本社 岡山県津山市津山口111-1

TEL : 0868-24-3211

新見 岡山県新見市石蟹267-9

TEL : 0867-76-9077

岡山 岡山県岡山市中区江崎84-1

TEL : 086-277-5100

鳥取 鳥取県鳥取市南栄町33-15

TEL : 0857-50-1985

ほっけー木になる情報

**Q. 林業の労働災害は、  
どんなものがあるの？**

**A.** 林業における労働人口に対する災害の頻度は、全産業の10倍と高い状況であり、そのうち、伐木作業中の死亡災害が全体の7割を占めています。特にかかり木に関係する事故が多く発生しており、その内訳をみると経験年数の少ない従事者や高齢者の事故が多くなっています。また、被災が目撃されずに発見が遅れた事例もあります。

このような状況を踏まえ、県では、労働災害の防止を図る研修を積極的に開催しており、そのうち、伐採技術向上研修では、研修生自身の伐倒技術の研鑽を図るだけでなく、研修後、受講者自身が各事業体の指導者として、他の職員の技術指導していただくことを想定し実施しています。

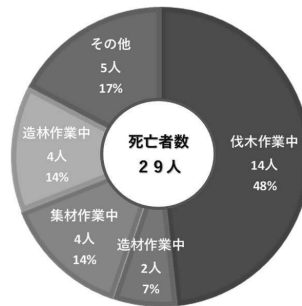
また、岡山県林業振興基金が行う「緑の雇用」集合研修においても、法令遵守や安全確保のための実習等、労働災害防止の教育が徹底されています。

しかしながら、本県において、今年1月から8月までに2件の死亡災

害が発生してしまいました。

今後、このような事故が発生しないよう、事業者の皆様には、関係法令等を遵守するのは勿論、安全確保に向けた取り組みの徹底をお願いするとともに、我々も、労働災害の撲滅を目指した研修を行って参ります。

令和5年度作業種別死亡災害発生状況



(出典:林野庁HP)



伐採技術向上研修

(普及推進課 林業普及推進班)

**スギの枝 買い取ります!!!**

当会では花粉症対策のひとつとして舌下免疫療法治療薬の原料となるスギ花粉を採取する事業をおこなっています。

令和7年1月から買い取りスタート

先着 4,000本

実付きの良いスギ枝を1本100円で買い取ります。

※4,000本に達し次第、買い取り終了となります。

- ◆実付きの良いスギの木の情報提供をお待ちしております。
- ◆高所作業車が設置できるところは、枝の採取に伺います。



▲ 実付きの良いスギ

お問い合わせ先 岡山県森林組合連合会 業務課 真庭市勝山 1884-6 ☎ 0867-44-2691



**「緑の募金」** ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs (持続可能な開発目標)

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は  
こちらへ

ゆうちょ銀行 00230-3-144752  
※窓口では手数料がすべて免除となります  
中国銀行岡山駅前支店 普通1852041  
トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

林声

令和六年十一月一日(第四九八号)  
(隔月一日発行)

編集  
発行

〒701-1202 岡山県森林組合連合会内  
岡山市北区櫛津四九一―一  
岡山県林業改良普及協会

森林・林業施設の紹介

「長船美しい森」  
「コンビネーション遊具」

瀬戸内市の北東部に位置する「長船美しい森」に設置された「コンビネーション遊具」を紹介します。

この遊具は令和6年3月に瀬戸内市が「おかやま森づくり県民税」による県産材利用促進対策事業を活用し整備したものです。

園内には展示や木工広場のほか研修や宿泊利用もできるビクターセンターをはじめ、バンガローやバーベキュー広場、遊具広場などがあり、キャンプや山登りなどを通じて、森林や野鳥などの自然豊かな環境に触れあえる施設となっています。

遊具広場に設置したコンビネーション遊具は、子どもたちに木材に親しんでもらい、森林や林業への理解を深めることを目的に整備したもので、自分の体力にあった遊びが出来るよう「登る」「握る」「ぶら下がる」などの要素が備わっています。

これらの遊びを通して木材に触れ、木目を観察し、木材の匂い、



おかやま森づくり県民税で設置した遊具のPR



コンビネーション遊具

森から聞こえる様々な音を感じることで木材に興味や関心を持つてもらい、今後の県産材の利用促進につながっていくことを期待しています。

(岡山普及指導区 筒井 政紀)

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

【林地除草剤】ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース  
造林木を野生動物の食害から守る

【野生獣類忌避剤】ランテクター水和剤・コニファー水和剤

【幼齢樹保護カバー】くわんたいⅡ

【樹皮食い防止】バークガード・美樹巻夫

【樹幹注入剤】マッケンジー・マツガード・他 【野生草食獣侵入防止】防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売: 日植アグリ株式会社

販売元: 大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288



林業機械のご購入・修理・買い替えのご相談は

美津吉商事株式会社

岡山県津山市一方194 / TEL 0868-23-2255

《津山・真庭・倉敷・鳥取・倉吉》

https://www.mitsuyoshi.com



イワフジ工業 ハスクバーナ・ゼノア

やまびこジャパン (新ダイワ・共立)

STIHL マキタ PFANNER 他

確かな技術と  
製品で  
作業の安全性を  
サポートします!

お近くのお店へ  
お気軽に  
ご相談ください。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

認定番号  
K0301090